

## 伊藤光男先生の絶筆

「富士山、ピース・ホームズより」(2019年11月5日)

2019年11月19日のお通夜、20日の告別式で配布された甥の吉富文司様、吉富望様の挨拶文：

本日はお忙しい中、お運び頂き誠にありがとうございます。

この絵は、11月5日(火)に叔父の故伊藤光男が入院していた日野原記念ピースハウス病院にて描いた本人最後の作品です。

叔父は長年にわたって絵を描き続けてきましたが、病の中でも絵への情熱を失うことなく、入院中にも描き続けておりました。当日は晴天で、雪を頂いた雄大な富士山を病院の窓から仰ぎ見ることができ、その風景に感動した叔父は、車椅子に座ったまま一気に描き上げました。富士山を見据える叔父の目は鋭く、元気な頃に戻ったかのようなようでした。

この絵をご覧になって、叔父を偲んで頂ければ幸いです。

吉富 文司・望

この絵を描いている叔父の様子を動画に記録しておりました。右記のQRコードをスマートフォンで読み取れば、動画をご覧いただけます。この際、「ウェブ版の利用を継続」をクリックしてください。なお、動画のURLは下記です。



<https://www.dropbox.com/s/heirqftzegb4ct6/%E5%8B%95%E7%94%BB%202019-11-05%2011%2002%2040.mov?dl=0>

叔父の絵は、岡崎市にある岡崎国立共同研究機構の隣にある「葵丘」に展示されています。



2019.11.5  
富士山,ピースホームズエフ

Am. Ito